

## 2017/1/29 週報巻頭言

### 全体と部分

聖書を読むときに「全体をみて部分を読む」ということがないと、全く逆のことになることがあります。マタイ福音書の全体のテーマは「神の御支配」ということです。神の支配とは「ある一部には神の支配があり、ある部分には神の支配が無い」ということではありません。人間社会の様々な出来事は人間の罪の結果によるものが多いことでしょう。マタイの第10章は、イエスの弟子たちが伝道に出て行ったときに起こった問題について語っています。特に27～28節は、マタイ福音書の最後に復活のイエスが言われた言葉と共通するのです。この10章はイエスが経験されたことを体験していく弟子たちの姿なのです。神の和解という「よろこびの福音」を伝えるという働きにもかかわらず問題が起こる現実を伝えるのです。問題は家において、家族の間において・・・というようにおこるのです。旧約聖書のミカ書7章6～7においてメシア(救い主)の到来で起こるであろうことがすでに描かれていました。回復の可能性はどこにあるのか、それは復活によるのです。マタイは、宣教の大命令を復活のイエスが言われたことによって再起したのです。今日のわれわれの伝道も、ここに根拠を置いているのです。(山下誠也)